

Information6

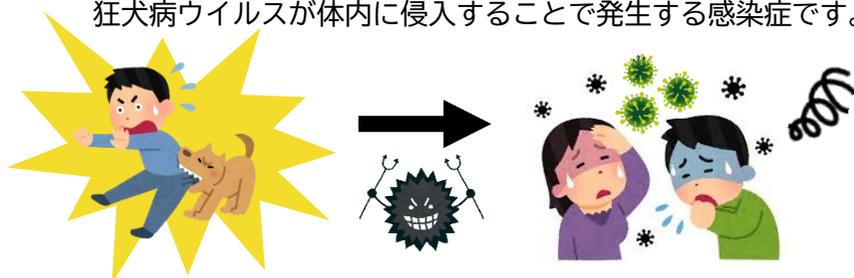
雨が多く降る時期になってきましたね(;・∀・)

今回は予防シーズンラストスパート！狂犬病のお話です。



狂犬病とは・・・？

狂犬病ウイルスに感染した犬などの哺乳類に噛まれたり、引っかかれたりして狂犬病ウイルスが体内に侵入することで発生する感染症です。



体内に入った狂犬病ウイルスは、噛まれたり引っかかれたりしたところからゆっくりと神経を通り中枢神経に侵入して発症します。

そして狂犬病は **150 以上の国**と地域で発生しており、主にアジアとアフリカを中心に毎年数万人の死者を出しています。



なんとその中の **40%**が **15 歳未満の子供**なのです!!

狂犬病を発症すると **致死率ほぼ 100%**の恐ろしい感染症です。

人が感染すると・・・



感染から発症までの潜伏期は1~3ヶ月程度。(長い場合は半年以上も...)

発症当初は、発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛など風邪のような症状から始まりその後、興奮、不安状態、意識障害、幻覚などの中枢神経症状が現れます。

そして数日後昏睡状態に。



不整脈呼吸障害により死亡します。

犬が感染すると・・・



まず潜伏期間は2週間~2カ月程度。

- 前駆期：性格の変化と行動の異常が見られます。
- 狂躁期：興奮状態、光や音の突然刺激に対する過敏な反応
- 麻痺期：全身の麻痺状態による歩行不能、舌を口外に垂らしながら流涎。



その後、昏睡状態に陥り死亡します。

ワンちゃんを飼われる方はご存じの方多いかと思いますが・・・
狂犬病予防法施行規則第11条により、現在は **91 日齢以上**の犬には **1年に1回**の予防接種が義務付けられており・・・
狂犬病ワクチンは4月から6月に接種することが推奨されています。



世界各地の狂犬病媒介動物



世界各地の狂犬病媒介動物を
見てみると犬以外にも
コウモリや、キツネ、アライグマ
などが挙げられています。

※厚生労働省 HP より参照

狂犬病は、ワクチンで予防できるウイルス性の疾患になっています。

子ども達を守るためにも、狂犬病ワクチンを打ちましょう!!

さいたま市にお住まいの方は

市から届いているはがきをお持ちいただくと受付がスムーズですよ ✨

ご質問などあればお声がけください。